

CFCCの使用実績 腐食環境下における構造物補強

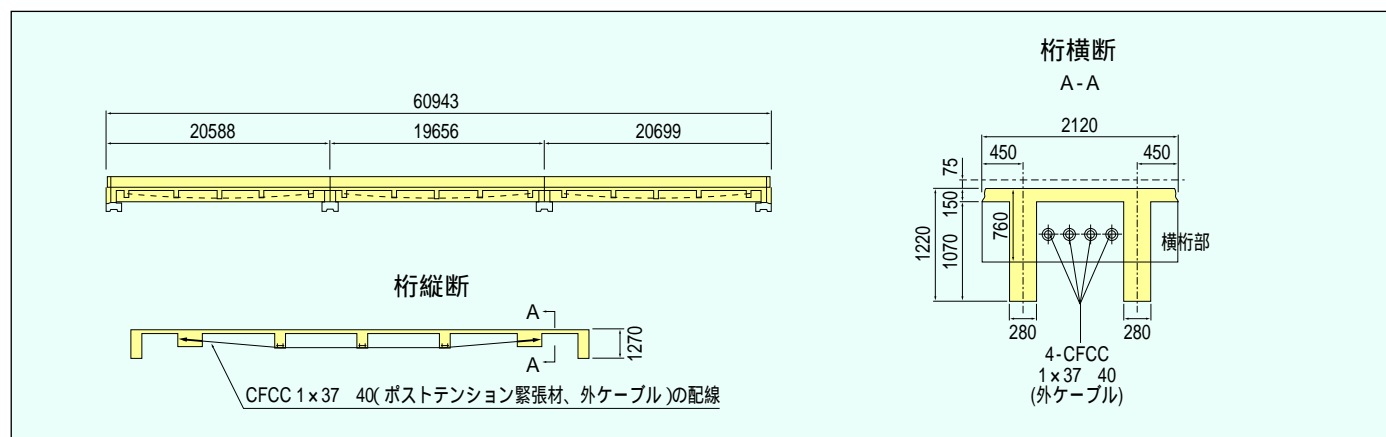
Bridge Street Bridge

Bridge Street Bridgeは、橋長約63 m、幅員約8.5 mの3径間ダブルT型プレテンション方式・ポストテンション方式併用PC桁(DT桁)橋で、米国ミシガン州サウスフィールド市の工業団地入口に道路橋として建設されました。凍結防止剤(塩)散布の影響で、築20年余りで補強材(鋼材)が錆びてコンクリートの剥離等の欠陥が生じたRC橋を架け替えたものです。CFRPを使用して設計施工されたこの橋梁建設プロジェクト(ローレンス工科大学Grace教授)は、塩害対策橋の開発として、米国連邦道路局(FHWA)やミシガン州交通部(MDOT)から資金援助を受けています。また、2002年PCI Design Awards Programで "Harry H. Edwards Industry Advancement Awards" の受賞など数々の賞を受けています。

| | |
|-------|---|
| 発注者 | サウスフィールド市(米国ミシガン州) |
| 所在地 | サウスフィールド市 |
| 規模 | 3径間DT型PC桁橋 橋長 63 m 幅員 8.5 m (桁長 約21 m) |
| 使用材料 | CFCC 1×37 40.0 CFCC 1×19 21.8 CFCC 1×7 17.8、12.5、10.5 |
| 補強材用途 | DT型PC桁のポストテンション外ケーブル 横締めケーブル 補強筋 |
| 竣工 | 2002年5月 |



構造図



< ACCトピックス Vol.15 Nov. 2002より >

